



きらきら Eye ランド
JA 庄内みどり

安全・安心をお届けいたします

グリーンプロジェクト情報 第7号

発行：庄内みどり農業協同組合
協力：酒田農業技術普及課

茎数に『ばらつき』あり！！ 生育に合わせて作溝・中干しを！

6月9日現在の作柄診断圃の生育は、草丈は平年並みからやや長く、茎数はやや少なく、葉齢は平年並みからやや遅れ、葉色は平年並みとなっています。(表1参照)
今年も、移植時期や圃場により生育差が見られます。また土壌残存アンモニウム態窒素は、平年並みとなっているため、安易な追肥はやめましょう。
今年は特に茎数・葉齢を確認して作溝・中干しの時期に達した圃場では作業を実施し、適切な生育調節で適期に適量の穂肥ができる稲姿にしましょう。しっかり穂肥ができることが、収量・品質・食味の3拍子揃った米づくりには重要です。

表1. 現在の生育状況 (6月9日現在の作柄診断圃データ) ()内は平年対比
つくばSD2号については、JA 作況圃データ ()内は指標対比

品 種	草 丈	茎 数	葉 齢	葉色 (SPAD)
は え ぬ き	31.0 cm (115)	293 本/m ² (95)	6.3 (-0.1)	39.1 (+0.4)
ひ と め ぼ れ	32.2 cm (118)	234 本/m ² (97)	6.0 (-0.2)	37.8 (+0.1)
つ や 姫	29.3 cm (98)	189 本/m ² (84)	5.8 (-0.3)	37.0 (-1.2)
つくば SD2 号	29.3 cm (94)	240 本/m ² (96)	6.1 (-0.3)	33.4 (-)

表2. 土壌アンモニウム態窒素残存調査結果 (6月9日現在作柄診断圃データ)
(単位: mg/100g 乾土)

品 種	平成29年	平年値	平年差
は え ぬ き	6.4	6.6	-0.2
ひ と め ぼ れ	4.8	4.5	+0.3
つ や 姫	4.2	3.9	+0.3

6月20日時点の各品種別指標値

は え ぬ き・・・草丈**33.0cm** 茎数**500本/m²** 葉数**8.3** 葉色**40.0**
つ や 姫・・・草丈**35.0cm** 茎数**460本/m²** 葉数**8.3** 葉色**39.0**
つくばSD2号・・・草丈**37.9cm** 茎数**450本/m²** 葉数**8.2** 葉色**46.1**
※理想とする指標値を目安に作業を進めましょう。

技、其の一 作溝・中干しは生育に合わせて！

作溝・中干しは、土壌中のアンモニウム態窒素を減少させ、無効分げつや節間伸長の抑制と、根の健全化を促し、登熟及び品質向上につながります。また、収穫期までの効率的な水管理を行なう上でも重要な作業です。

目標茎数の90%を確保した圃場では、落水して作溝・中干しを行いましょ。作溝・中干し開始時期の目安は8葉期の有効分げつ決定期(6月20日頃)です。

本年は生育に「ばらつき」があるため、茎数・葉齢を確認して遅くても6月25日頃には開始しましょう。

中干し終了後は、走り水等で徐々に根を慣らしながら間断灌水に移行しましょう。

但し、気温18℃以下の低温時や強風時には直ちに深水にし、稲体を保護しましょう。



◎品種別、土壌別、作溝・中干しの開始目安(有効茎数の9割)

品 種	茎数(1株当り) 70株植え	作溝の間隔		中干しの程度
		壤土	埴土	
は え ぬ き	23本	4~5m	2~3m	小ひびの入る程度 (やや強め~強め)
ひ と め ぼ れ	21本			
つ や 姫	19本			
つくば SD2 号	25本(60株植え) 21本(70株植え)			

技、其の二 こまめな 圃場管理で病害虫を防除！

◎イナゴ

幼虫が発生しています。薬剤の使用は各地域の防除計画に基づき対応して下さい。

◎斑点米カメムシ類

カメムシの発生量はやや多いと予想されています。生息密度の低減を図るため、こまめな草刈や休耕田の耕うんを徹底しましょう。

◎葉いもち

圃場に放置している補植苗は、直ちに処分しましょう。薬剤散布を計画している圃場では、オリゼメート1キロ粒剤を6月20日頃まで遅れずに散布しましょう。特に山間部や風のよどむ箇所、乾田V溝直播栽培での肥料重複箇所等、生育量の多いところでは散布が遅れないように注意して下さい。

◎紋枯病

例年、多発する圃場では、リンバー粒剤等の散布も検討しましょう。

※特別栽培米生産者の皆様へ

特別栽培米生産圃場では、計画された薬剤以外は使用できませんので、圃場をよく見回り、病害虫の発生が確認されたら、必ず各営農課へご相談下さい。

●残留農薬等のポジティブリスト制度が施行されております。

防除を実施する場合、周辺作物に飛散しないよう、風速・風向に注意しましょう。

ヘリ防除が始まります、各種圃場旗を早急に設置しましょう。

大豆栽培のポイントは中耕培土

今年は、断続的な降雨が影響し平年より播種作業が遅れたことと播種後の天候により出芽のばらつきが見られます。今後梅雨入りし雨の日が多くなると、排水不良田では湿害により生育が停滞し、雑草が発生して品質や収量に大きく影響を及ぼします。中耕培土は有効な除草方法であると同時に、有効な湿害対策でもあります。晴れ間を見て遅れずに作業を実施しましょう。

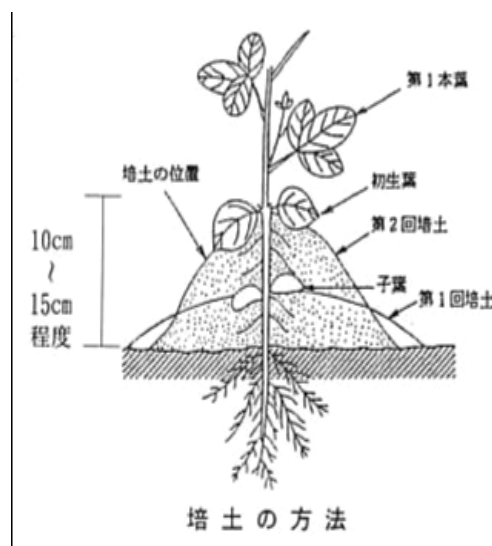
また、ネキリムシの被害が懸念されますので圃場を見回り、被害が見られる場合は「ネキリエースK」を3kg/10a(使用時期:大豆本葉2葉期迄)で防除しましょう。

1. 本葉2枚頃の中耕培土(1回目) 6/16頃～(適期播種の場合)

- ①中耕は、早めを実施すると効果的です。
- ②除草剤の効果が低下し、雑草の発生が目立ってきたら、遅れずに実施しましょう。

2. 本葉6枚頃の中耕培土(2回目) 6/30頃～

- ①尿素を現物10a当り10kg(N成分4.6kg)を施肥しましょう。
注) 基肥に「庄内みどり大豆一発号」を施肥した場合は、①の追肥は不要です。
- ②追肥後、初生葉が隠れる位置まで、しっかり培土しましょう。
- ③ヒエ等のイネ科雑草の発生が見られたら、ワンサイドP乳剤又はポルトフロアブルを雑草茎葉散布しましょう。
また、広葉雑草の発生が見られたら遅れずに大豆バサグラン液剤を雑草茎葉散布しましょう。
(除草剤を散布する際は、隣接する稲への飛散に注意しましょう!)



《園芸情報》

薄皮ミニトマト「ピンキー」の管理について



平成29年度もミニトマトの栽培が始まりました。今年も下記のポイントに注意して栽培を行いましょう。目標数量は夏秋栽培で10aあたり6tです。

1. ホルモン処理

着果促進のため第一花房が開花したら、トマトーンを花房に散布し着果させます。この時の濃度は気温が20℃以下なら50倍、20℃以上なら100倍で散布します。生長点にかかるとホルモン障害になる可能性があるため、かからないように注意してください。(使用回数は1花に1回です)

2. 灌水

急激に多量の灌水を行うと裂果の原因となるため、灌水は基本的に少量多回数を行うことをこころがけましょう。

3. 追肥

着果数が増えるたびに、草勢は低下します。生長点、茎の太さ、開花花房の位置、葉色をよく観察し、先が細くなる前に追肥をしなくてはなりません。基本的な追肥量は第三花房が開花したら、成分で10a当たり1～2kgを追肥します。(トミー液肥グリーンなど)

4. 高温対策

- ・ハウスの開口部はできるだけ開放し、気温を下げましょう。
- ・遮光資材を使用する場合は、遮光率の低いものを使用しましょう。(ダイオシート等の遮光率が高いものでは光合成が十分に行われなくなるため、使用を避けましょう。)

5. 防除

「ピンキー」も含めたトマト類全体でアザミウマ類の被害が出ます。ハウスサイドや入口に防虫ネットを張っていても防除は必要です。被害果は売り物にならないので発生が見られたらモスピラン水溶剤、またはディアナSCなどで防除を行いましょう。

「ピンキー」は灰色かび病や葉かび病の抵抗性がなく、梅雨期に発生しやすいので、ベルコート水和剤またはカンタストライフフロアブル等で予防または発病初期に防除を行いましょう。農薬は各園芸センターより防除暦が配布されておりますので、そちらを参照の上ご使用ください。

農薬を使用する場合は必ず容器のラベルを確認してから使用してください。分からない場合は自分で判断せず、各園芸センターへお問い合わせ下さい。

★次号の発行は7月5日(予定)です!

無人ヘリコプターによる 一斉防除が始まります

今年も無人ヘリコプターによる一斉防除が、中平田地区の6月下旬頃を皮切りに始まります。地域ごとに詳しい防除日程等をお知らせ致しますが、ご迷惑をおかけしないよう万全の対策を講じてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。
尚、お子様のいるご家庭におかれましては、無人ヘリコプターには絶対近づかないようお願いいただければ幸いです。

JA 庄内みどり無人ヘリ防除連絡協議会

つや姫情報コーナー



茎数は少なめです!分けつの発生を促進させましょう!

- つや姫の目標穂数は、440本/m²、坪70株植えて1株20～21本です!
- 今年の生育は、圃場毎に「ばらつき」が見られます。各圃場の茎数を確認し、株あたり茎数が、19本に達したら速やかに中干しに入ります!

○ケイ酸資材の投入で登熟向上!

秋・春にケイ酸資材を投入していない圃場では、出穂40日前～穂孕期にケイ酸資材を投入して、登熟向上を図りましょう!